

二〇二五年度 夏期「東大現代文」 問題【2】 解答モデルと採点基準

担当 中野 芳樹

〈一般的採点基準〉

- a 誤字・脱字・略字・表現未熟・文末表現ミス・文末句点なし等……マイナス1点。設問毎に減点
- b 未完成……失格
- c 解答欄の不正使用（二行書き、書き過ぎその他）……失格
- d 比喩表現のママなど……減点もしくは加点無し

〈設問別採点基準〉

- 一（6点）
- 人間は、情報の不可逆的な仕上げと始末へと向かう際、大きな変容となり得る表現の微差に執着する美意識が働くということ。
- *①は、必須ポイント
- ① 構文「人間にはAを前にしてBという心理が働く」 1点
 - ② A「定着あるいは完成という状態（を前にした）」不可逆な・情報の仕上げと始末（へと向かう際の） 2点
 - ③ B「心理」不可逆な変容を生じうる・微差に執着する・美意識 3点

- 二（6点）
- 不可逆的な定着の成熟さを望む美意識は、白い紙への不可逆な固定というイメージネーションを暗黙の前提とするということ。
- *①・②は、必須ポイント
- ① 主題「（このような）達成を意識した完成度や洗練を求める気持ち」 「推敲」（置換）しようとする美意識 1点
 - ② 「推敲」不可逆な定着を・より成熟したものにする 2点
 - ③ 構文「①の背景に「白という感受性が潜む」 配点なし
 - ④ 「白という感受性」（置換）
「白い紙に記されたものは不可逆であるという・イメージネーション 2点・1点
 - ⑤ 「潜んでいる」暗黙の了解、等 1点

- 三（6点）
- 不可逆な過失の累積への呵責の念が、完成度や洗練への美意識を促進し、紙メディアを主とする文化を育んできたということ。
- *①（「いざなう推進力」の置換）・③は、必須ポイント
- ① 主題「いざなう推進力」不可逆な・過失の累積を・呵責の念で把握することが・「加速させる」（置換） 4点
 - ② 「推敲という意識を」完成度や洗練への美意識を 1点
 - ③ ①が紙を主とする文化を育成してきた 1点

- 四（6点）
- ネットというメディアで無数の人々が受ける情報は、価値観や美意識がなく、共有の知として無限の更新を続けるということ。
- *①・④は、必須ポイント
- ① 主題「その情報」ネットというメディアの・無数の人々の目にさらされ続ける・情報について 3点
 - *「メディア」を欠けば、1点のみ
 - ② 「文体を持たないニュートラルな言葉で」
「価値観や美意識が存在しない（情報） 1点
 - ③ 「知の平均値」①は皆が共有できる知 1点
 - ④ 「く示し続ける」①は無限に更新を繰り返す 1点

- 五（16点）
- 白い紙に記す不可逆性は完成度や洗練を求める人間の文化に関する美意識を生み出した。白という感受性により不可逆な状況で不完全さを超克し、失敗への危険に臆さず深く発する表現の強さは感動の根源となり、諸芸術の感覚を鍛える暗黙の基礎となるということ。（二二〇字）
- *①と、③もしくは④のいずれかとは、必須ポイント
- ① 主題「白という感受性（美意識など）」について 2点
 - *「白」のみで「感受性」「美意識」等がなければ、1点
 - ② 不可逆な（後戻りできない）状況で（↓ ③） 2点
 - ③ 未成熟（不完全）を超克し・失敗への危険に臆さず・深く発せられる表現の強さが 2点・1点・1点
 - ④ 感動の根源・諸芸術の感覚を鍛える暗黙の基礎となる2点
 - ⑤ 白い紙に記すことの・不可逆性 2点
 - ⑥ ⑤が完成度や洗練を求める・美意識を生む 2点・1点
 - ⑦ ⑤が一つの文化を作り上げてきた 1点

- 六（各1点）
- a 吟味 b 器量 c 真偽 d 回避 e 成就